

一貫教育

新篠津の子どもたちの明るい15の春を目指して

～ 新篠津小中学校 一貫教育推進員より ～

実用算数・数学技能検定、1回目、受検募集終了！

5月19日（木）に1回目の「実用算数・数学技能検定」のご案内を小中学校の全児童生徒に配布しました。試験日は7月18日（日）で、6級（小6程度）～11級（小1程度）3級（中3程度）～5級（中1程度）、準2級（高1程度）までの希望する級を受検することができます。小学生9名、中学生3名の計12名が受検を希望しています。

2回目は、12月4日の予定です。

1回目の実用英語技能検定終わる！

5月29日（土）に1回目の英語検定が中学校で行われました。3級を受けた中学校3年生3人は、直前まで試験に出そうな問題の見直しをしていました。また、5級を受けた小5・6年生、中学校1・2年生は、初めて検定を受ける人もいてちょっと緊張気味でした。

小学生は、「初めて中学校の校舎に入る。」と興味津々の様子でした。

検定のおよその流れは、次の通り。

○必要事項の記入

氏名、住所、生年月日など、必要な事項を検定の解答用紙に記入します。

○筆記テスト

問題用紙を見ながら、解答用紙に答えを記入します。答えは、5級では全てマークシート方式ですが、3級では、答えを記述する問題もありました。

○リスニングテスト

CDから流れる英語の問題を聞きながら、解答用紙に答えを記入します。

問題用紙については、31日（月）に受検した子どもたちに小中学校ともに渡しました。もう一度、見直してみるといいと思います。

3級を受検したみなさんの2次検定は、6月27日（日）です。合否の発表は、1次検定が6月22日（火）頃、2次検定の発表は、7月13日（火）頃となっています。

また、2回目の検定は、1次10月9日（土）、2次11月7日（日）を予定しています。受検した皆さん、お疲れ様でした！

（文責 中川）

タブレットを使った算数・数学の授業

写真は、小学校6年生と中学校1年生でのタブレットを使った算数・数学の授業の様子です。授業の中で、下のようを使って授業を行っています。

- 問題を解き、自分の考えや答えをノートに書く。
- 書いた自分のノートをタブレットで写真撮影する。
- クラス全体で集約したノートの写真をタブレットで見て他の人の意見を把握する。
- タブレットを見ながら、それぞれの考えを発表したり、聞いたり、質問したりして理解を深める。



タブレットがなかったこれまでは、自分のノートに書いたものを改めて黒板に書いたり、ホワイトボードや画用紙に書いたりして黒板に貼り、それを見ながら全体で共有していました。



しかし、タブレットがあると、写真を撮ってすぐに共有することができるので、浮いた時間を考える時間や話し合いで考えを深める時間に使うことができます。

また、集約したものに自分の意見や質問を書くことも可能であり、タブレット上で意見交換することもできるのです。

今は、まだタブレットが入って間もないので、中学校でも使い方を説明して、生徒が慣れていく時間が必要です。



しかし、小学校から使い慣れていけば、中学校で改めて指導する必要がなくなり、タブレットの操作を覚えるための時間を他の学習活動に充てることができるようになります。また、小中学校で教師側がタブレットの使用方法を交流することで、授業時間をより効率的に使って子どもの深い学習につなげることができます。

小学校では、先月、国語の話し合いの授業でも3～6年生でタブレットを使って意見交流を行ってみました。また、2年生では、校外学習で「まちたんけん」に出かけた際に、先生との連絡手段として、また時間を把握する手段として使用することもしていました。

下の学年では、まだまだ使い慣れていない面もありますが、機会を捉えて使用し、鉛筆や定規と同じように「文房具の一つ」として使えることを学校では、目指しています。